

絵の上達のための 質問集20選

絵の上達や仕事に関するご質問を
プロ作家がお答えします

奥田みき 著



目次

目 次	1
ご挨拶	2 ～ 4
絵の上達に関する Q&A	5 ～ 15
プロ志望の方への Q&A	16 ～ 32
後 書 き	33 ～ 34

その悩みは皆が通って来た道



こんにちは。画家・イラストレーター
の奥田みきです。

私は今まで講師や作家として、絵の上達を目指す方やプロ志望の方の質問やご相談に沢山お答えしてきました。

絵を描かれている方の多くは

「上手になりたい！」

**と思って描かれていると思いますが、一人で制作していると、壁にぶつかることも少なくな
いですよ。**

精神的な部分や、技術手的な部分も、真摯に絵を向き合うほど、沢山の壁にぶつかりますよね。

この冊子は、多くの人がぶつかる
「絵を描く上での悩みや質問」
を共有できればと思い、制作しました。

さくっと読めるように、一つ一つ
のQ&Aは短めにしました。



なお私はファンタジー系、スピリチュアル系、仏
画を中心にイラストレーターやアートの仕事を
しています。

主に人物を中心とした具象画ですので、その
傾向の仕事をしてきた経験で、お答えしていま
す。

ジャンルが変わると又、多少考え方も異なりま
すので、その点はご了承ください

それでは、この冊子があなたの創作活動で何
かのお役に立てれば嬉しいです。

この冊子ではオレンジのバナーが
「一般的な絵の上達に関するご質問」に関する
記事で

一般的な絵の上達に関するご質問

緑のバナーが「プロ・絵の仕事をしたい方」に
向けた記事になっています。

プロ志望向けのご質問

プロ向けの方は、私が商業イラストやアートの世界での実体験を元にお答えしています。
ビジネスとして絵に関わりたい方向けの質問集になっています。

最初はどの画材を使えば良いですか？

「初めての画材は何が良いですか？」

というご質問や、

「絵を仕事にするならどんな画材が良いですか？」

というご質問をいただくこともあります。

これには答えはなくて「自分が描きたいと思う画風」によって違います。

どの画材だから仕事に有利というのはありません。まずは興味を持った画材から始めてみてくださいね。

参考までに私の講座で言うと

「初心者の方はパステルが描きやすいです。次に水彩、その次にアクリル、追求がしやすいのはアクリルです」とご紹介しています。

ちなみに、「仕事」としてやっていきたい方は、アナログをメインで描いていても、基本的なデジタル作業（入稿のためのデーター作りなど）が出来る事は必要です。

デッサンって必要なんですか？

これはとても良く聞かれます。

「デッサン」と聞くと、受験のための徹底した基礎デッサンを思い浮かべる人も多いと思います。そういう意味でのデッサンはあえてやる必要はないのですが、**具象、特に人物を描きたい方はやはり必要だと思います。**

これはメルマガできちんにご説明しますね。

人の絵を参考にしても良いんですか？

絵を描くときに人の作品を参考にすると、似てしまうのが気になりますよね。

「作家は個性が大事」とも言われますし。

実は私も初期の頃、既成作家に似ていると言われるのが嫌で、一時、人の絵を極力見なかったことがあります。

(持っている画集まで捨ててしまったり(笑))

でも最初は誰でも模写から入ります。

色々な絵をみて、真似て、それがいずれ「**自分らしさ**」に昇華されるのだと思います。

最初からその人独自の絵を描ける人は、多分一万人に一人くらいです。

なので最初は既成作家の絵に似ていると言われても、心配しないでくださいね。

むしろそれを気にして人の絵を見ないと、狭い範囲から広がっていきません。

枚数を描いて行く度に、自分らしさが加味され、「その人らしい」絵になっていくのだと思います。

では写真や絵を資料に
自分の絵を描いて良いんですか？

前の質問で「人の絵を参考にして良い」と描きましたが、「パクリ」や「トレース」はNGです。

ネット上に上がっている作品でもその作品の著者に「著作権」があります（パブリックドメインを除く）

自分に著作権のない絵や写真を「そのまま」
写してしまう事は著作権侵害になります。

あくまでも「参考資料」にとどめてくださいね。

どうやって作品の人物を描いていますか？

人物画で苦勞している人は多いですね。
私もそうでした(^^)

イラストや幻想作品で描かれる人物は「理想
化」された人物です。ここが普通のデッサンと
違う所です。

そのため、実際のモデルさんを描く練習だけで
はなく「記号化」された人物を描く練習が不可
欠です。

私は普段は次のページの手順で描いています。

- 1.ラフスケッチをする
2. 必要ならポーズを自撮りする
- 3.その写真を「自分の理想化バランス」に当てはめて描く。

理想化する描き方は、有名なA・ルーミスの「やさしい人物画」でも解説されていますし、私も講座でお教えしています。

イメージを上手く形に出来ません

「頭の中には素敵なイメージが浮かぶのですがそれいざ描こうと思うと上手く描けないんです」こんなお声も良く頂きます。

頭の中にあるイメージをいざ2次元の紙に描こうとすると、**イメージしているものと違ってがっかり……**、ということも多いですね。

これは「具象化するスキルの不足」が原因です。
一言で言うと「描写力」です。

絵を具体的に表現するためには、やはり「描く」
部分の「絵描きのスキル」が不可欠になってき
ます。

絵は良く

「描いたことがあるものしか上手く描けない」
と言われます。

人間が描きたければ人間を描く練習を、動物が
描きたければ動物の練習が必要になります。

ただ「素敵なイメージ」が浮かぶというとは素
晴しいことですし、「それを描けるようになりた
い!」というモチベーションにも
なりますので

是非「描く技術」も磨いてくださいね。



何が描きたいのかまだ分かりません

絵を描き始めた頃には良く

「自分はどんな絵を描いていきたいのか良く分からない」

「描こうと思っても、イメージ湧かない」

というお話を聞きます。

こういう方はまず

作品を沢山見ることをお勧めします。

世の中には沢山の素晴らしいアートがあって、今の時代幸いなことに、Pinterestなどを始め沢山の作品をネットで見る事が出来ます。

初めから「こんな絵が描きたい!」と明確に決まっている方もいますが、
絵に興味があって、これから色々学んで、本格的に描いていきたいと思っている方もいるでしょう。

自分が興味を惹かれるジャンルだけでなく、ジャンルの違う作品も沢山見ることで、「絵のバリエーションのストック」を広げることが出来ます。

余り興味のないと思っていたものが、実はとても自分に向いていたり、良い刺激になったりと言うことも多いです。

そして何よりも大事なのは「**実際描いてみる**」ことです。

描いてみることで又新しい発見が見つかりますよ!

独学でも上手くなれますか？

独学で高いレベルを身に付けた人も沢山います。

ただ、絵というのは不思議で、人の間違っている箇所は分かって、自分の間違っている箇所はなかなか分かりません。

例えば頭でっかちな頭身を描く事が身についてしまっていると、その癖が本人には気が付かないんですよね。

これを例えば友達に指摘されたら、殆どの方は怒ると思います(笑)

ですので「今自分は伸び悩んでいるな」とか、「何か上手いかわからないな」と感じる方は、自分に合う(きちんと間違いを指摘してくれる)先生に習うと成長も早いと思います。

毎日練習しないといけませんか？

絶対に毎日描かないといけないと思うと、それが苦痛になってしまいますよね。

毎日描く時間や習慣のない方は、

まずは無理のない目標設定をしてください。

◎三日に一枚 デッサンを仕上げる

◎一ヶ月に一枚は作品を仕上げる など

上達には沢山描く必要がありますか？

はいあります(笑)

ただ、間違った方法で沢山描いても、間違ったまま進んでしまい、上達に繋がりません。

出来れば一人で描くより先生や、先輩格の方にアドバイスを受けながらの方が良いです。

絵を仕事にしたいのですが、 どんな方法がありますか？

絵の仕事には主に下記の3つに分かれます。

イラストレーター（商業画家）

アーティスト（画家）

アート系講師

以下に簡単にご説明しますね。

●イラストレーター

クライアントから依頼を受けてイラストを制作する仕事です。

【どうやってなるの？】

イラストレーターエージェントなどへの登録

ポートフォリオなどからの営業

クライアントへの売り込み

クリエイターエキスポなどの見本市への出展

●アーティスト(画家)

展覧会などで絵を売る

個人オーダーで絵を制作する

【どうやってなるの?】

展覧会への出展、公募展への応募

自分のHPでのオーダー受付

●アート系講師

学校系講師、カルチャー教室、サロン系

【どうやってなるの?】

学校は主に紹介ですが、カルチャースクールは

HPなどでも「講師募集」をしている所もあります

サロン系も盛んですし、もっとも手軽にスタート出来る絵の仕事でもあります。

ちなみに私はこれを全てやっていますが、
それぞれ、向き、不向き、良さも難しさもあります。
なので一重に「どれが簡単」とは言えません。

例えばイラストレーターでも比較的取りやすい仕事もあれば、簡単には取れない仕事もあります。

○ユーザの期待に応えることが得意な方はイラストレーター

○自分の作品を追求したい方はアーティスト

○社交的な方は講師業

簡単に言うと、こんな感じです。
ご自身の性格なども見極めて
目指してくださいね。



絵を仕事にしたいのですが、 人と競うのが苦手です

絵を描く方は繊細な方が多いので、**ビジネス**として描くのが不向きな方も実は少なくありません。

ビジネスとなると、やはり同業他社との競争は避けられないからです。

絵を描く才能と、仕事として回して行く能力は本来かなり違います。

収入源のメインを絵で考えるのではなく、自分が無理なく出来る方法で描き続けて行くのも良いと思います。

もちろん「あの時やっておけば良かったな」と後悔しないように**一度は思い切りチャレンジして見て下さいね。**

批判されて凹みました…

批判には2種類あって

一つは

「悪意のある・無理解な批判」

もう一つは

「変だと思ったことを言っている」

です。

一つ目の方の

「悪意のある」は「あなたが嫌い」だからと言う批判でももちろん聞き流して良い批判です。

「無理解な」は、ジャンル違いの人が、そのジャンルでのことを知らずに言っていることです。(ただし、客観的に言っている分、時々の得ている意見の時もあります)

大事なのは二番目の方で

だれでも「間違いを指摘」されると、ついかってしてしまいますが

例えばデッサン崩れなど、誰が見ても分かり易い間違いなどは結構自分では分からない箇所があります。

こういう意見は言われた時には傷つきますが、見た人が「何違和感を感じた」箇所なので、無視しないで気に留めた方が良いです。

批判や意見は言われれば凹みますが、

「私は自分の作品に自信を持っていますので、批判は一切聞きません!」

となると成長の機会も失ってしまうと思います。

批判は上手く昇華して、ステップアップの栄養にしていきましょう!

どんな作品が売しやすいですか？

どんな人をターゲットに描くのか、によっても違います。

一般的には、花や風景、子供、美人画、動物画が人気です。

でもそれだけではなく（私もそうですが）、ニッチなジャンルで、その界隈の方を相手に描いている人もいます。

ただ、ニッチジャンル＝マニアックなジャンルはその界隈にいるユーザーの方もコアな方が多いです。

ですので、マニアックなジャンルの仕事は絵とは別に題材に対する知識も必要になります。

売れない（仕事にならない）時には画風を変えた方が良いんですか？

これはキャリアの長いプロの人でも、意見が二つに分かれます。

●自分が好きな物を貫くことでいつか仕事に結びつく

●柔軟に対応した方が良い

私の意見は、といえは両方かな？と思います。頑なすぎるのも良くないですし、流されすぎも良くない。

仕事にしたい場合でしたら、やはり自分の作品を購入してくれる、仕事をくれる「クライアントやユーザー」のことを考えてみるのも大事です。

「自分の作品を変える」というと、「魂を売る」レベルで考えてしまう方がいますが、自分が無理なく出来る変化の中でも、ユーザーやクライアントに「寄り添う」変化は出来るはずです。

直ぐに仕事にしたいのですが

これも時々聞かれます。

今、世の中には

「短時間で誰でも身に付く〇〇メソッド技法」
が溢れています。

誰でも出来る方法は、簡単にできて楽しいの
ですが

「誰でも簡単に出来る=自分以外の人でも
簡単にできること」です。

今流行っていることをやれば、短期的には
「直ぐ」に仕事になるかもしれません。

でも短期間で身につくものの多くは、短期間で
通用しなくなってしまうことも多いのです。

あまり焦らずに

しっかりと「描ける力」を身に付けた方が、結果的には長い間仕事をする事が出来ます。

かと言って、習得に時間が掛かると聞くと、それだけで嫌になってしまう方もいると思います。

そういう場合には簡単なことをまず習得して、同時進行で時間のかかる、スキルを磨いていくと良いと思います。



なかなか仕事に結びつきません どうしたら良いですか？

仕事に結びつかない時期は辛いですね。
そんな時こそ、客観性を持って自分の絵や仕事内容を分析してください。

「絵を売りたい・絵の仕事が取りたい」という方は、自分の作品のレベルや傾向が、それを求めているクライアントやユーザーに響いているのを考える必要があります。

○自分の作品のレベルは、ユーザーがお金を出して買い求めたいと思う作品か？

○自分の作品はターゲットにしているユーザーに響いているか？

などなど、自己分析をして見る必要があります。

プロに必要なものってなに？

これは同じ「絵の仕事」でもジャンルなどによっても少し違いますが、大きく分けると下記の3つだと思います

- A・絵の上手さ
- B 客観的な目
- C・柔軟性がある
- D・時代を読む目がある



これらはAを抜かせば、絵に限らず多くのビジネスに必要なものです。

世の中の市場は、大きく10年サイクルで、小さい単位では数年で変わって行きます。

時代ごとに作風を変えらるという意味でなく、色々な流れに対応出来るようにする必要があります。

本ってどうやって出版するのですか？

出版パターンは2つあります。

①出版社から「こんな本を出版したいので原稿を書いて下さい」と打診がある。

②もう一つは「こんな本を出版したい」と出版社にプレゼンをする、です。

私の場合①の場合は「イラストレーターとして参加する場合」で、作者が別にいることが多いです。

②のプレゼンというのは「出版企画書」を書き、それを出版社に提出することです。

出版企画は直に受け付けていない場合も多いです。

この件は長くなるので、ブログでも記事にしていますので、さらにお知りになりたい方はそちらからご覧ください。

ちなみにオラクルカードの自主出版と、海外出版の件も、同じくブログ(メルマガ末尾のリンク先です)

<http://mikisya.com/>に詳細を記載しています。

絵の値段の相場って？

良く「絵の値段や原稿料の”相場”は幾らですか？」と聞かれます。

でも、例えば駆け出しの方と、キャリア10年の方の”相場”はもちろん違いますので、一重に”相場”幾らとは言えないものです。

まず一枚絵（絵画）の方ですが、一般的には
「号幾ら」の計算になります。

例えば「号2万」だとしたら、4号で8万です。
20号だと80万の計算ですが、大抵の場合は
大きなサイズは多少割安につけています。

画家として売れていけばこの「号幾ら」は上が
って行きます。

（ただし、「号幾ら」に拘らない方もいます。）

イラストの原稿料の相場

イラストの原稿料の相場は発注先によってかなり異なります。

イラストレーターの中には「料金表」を掲載している方も少なくないですが、本の表紙で50,000～100,000円位です。

見積もりの提示を求めらことも多いですし、クライアントの提示額と折り合わない場合には価格の交渉など必要になってきます。

イラストレーターの場合、キャリア以外にも媒体によって値段が左右されます

○広告系

○ゲーム・WEBコンテンツ系

○出版系

など使用される媒体によっても
「制作費の”相場”」が異なります。

印税の場合

まるごと一冊手がけている本や、挿絵の多い
本の場合は印税になります。

出版価格の10%~5%の範囲で出版社との
最初に契約で取り決めます。

共著の場合は折半です。

印税の額は出版社によって決まっています。

（初版がどれくらいか、どれくらい売れるジャン
ルの本か、など一般書籍と
技法書などは「相場」が違います）



いかがでしたか？

この冊子の記事が、何か一つでもみなさまのお役に立てたとしたらうれしいです。

この冊子では誌面の関係で、一つ一つの記事が短めになっていますので、今後メルマガの方でも掘下げて行きたいと思っています。

今回取り上げなかったことでも、「絵に関する悩みや疑問」は沢山あると思います。
何かあれば是非ご相談下さいね。

それではご拝読いただきまして
ありがとうございました。

奥田みき

奥田みき/著

「絵の上達のための質問集20選」

2020年5月20 初稿発行

この電子書籍に含まれる記事、画像の一切の権利は奥田みきに帰属し、日本の著作権や国際条例で保護されています。

著者の許可なく、この電子書籍の一部、または全部を複製、転載、その他二次利用することを禁じます。